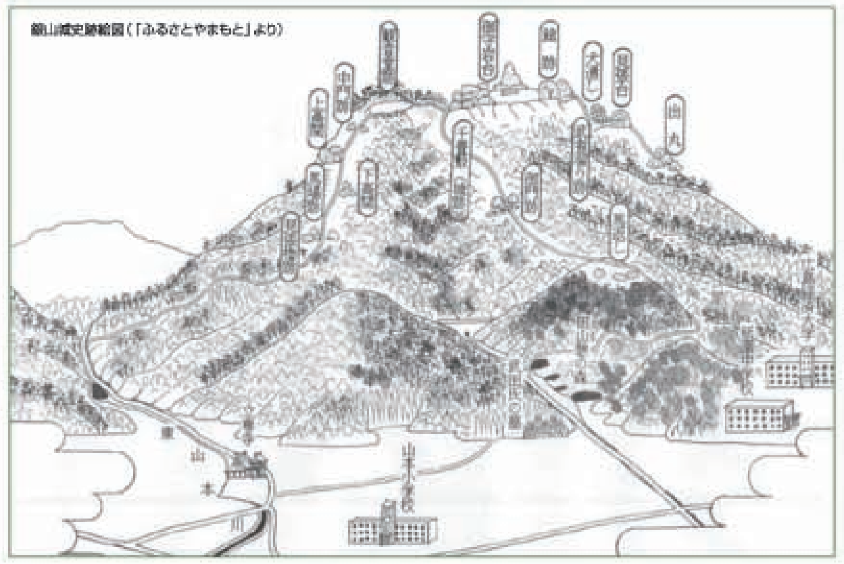

銀山城史跡絵図（「ふるさとやまもと」より）

武田氏と銀山城

三十二間二方白星兜鉢（さんじゅうにけん にほう しろぼしかぶとばち）
国重要文化財　昭和34年（1959年）6月指定
［呉武田学園蔵］

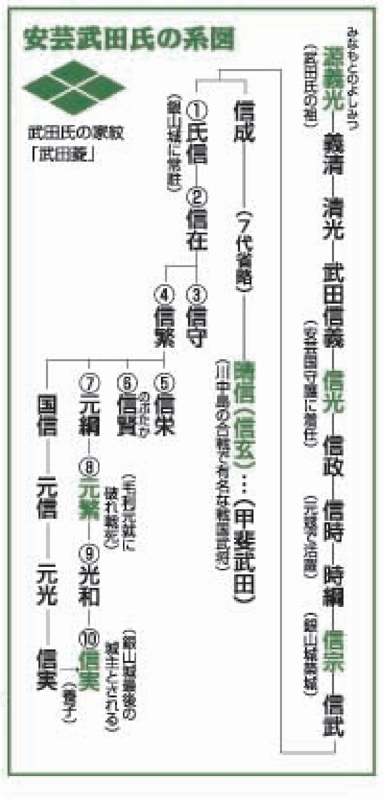
銀山城（かなやまじょう）は、鎌倉時代の終わり頃、安芸国の守護（しゅご）であった武田氏が築いたと言われる山城です。

武田氏は甲斐国（かいのくに）（山梨県）を本拠とする武士ですが、安芸国と関係を持つようになるのは、信光（のぶみつ）が安芸国守護職（しゅごしき）に任命されてからです。武田氏は最初、代理を派遣して統治していましたが、元寇（げんこう）のあった文永（ぶんえい）11年（1274年）に、信光の孫、信時（のぶとき）が安芸国に下ってここに住むようになり、以来およそ300年間、安芸地方の支配にかかわってきました。

銀山城を築いたのは、信時の孫、信宗（のぶむね）と伝えられています。

標高410.5mの武田山全山にわたるこの城は、守りの固い名城とされ、戦国時代に中国地方の統一支配を目指して西から攻めてきた大内氏の激しい攻撃にも落ちなかったと言います。しかしその名城も、武田氏の勢力の衰えた天文（てんぶん）10年（1541年）、大内氏の命を受けた毛利元就（もうり もとなり）らの巧みな戦略によってついに落城し、以後は大内氏の支配下におかれました。そして天文23年（1554年）には、毛利元就が自身の居城として手中に納めています。

安芸武田氏の系図


武田氏の家紋「武田菱」
源義光（みなもとのよしみつ）（武田氏の祖）
義清
清光
武田信義
信光（安芸国守護に補任）
信政
信時（元寇で活躍）
時綱
信宗（銀山城築城）
信武
信成
（7代省略）
晴信（信玄）…（甲斐武田）
（川中島の合戦で有名な戦国武将）
①氏信（銀山城に常駐）
②信在
③信守
④信繁
⑤信栄
⑥信賢（のぶかた）
⑦元綱
⑧元繁（毛利元就に破れ戦死）
⑨光和
⑩信実（銀山城最後の城主とされる）
国信
元信
元光
信実（養子）

武田山のシンボルキャラクター
たけちゃま

祇園町への愛着を深め、魅力を発信するために、武田山に残る伝説から生まれたシンボルキャラクター。武田山に純金の茶釜を隠し、目印に白南天を植えた、武田氏の伝説をもとに作りました。武田山の自然と歴史、趣味のお茶を愛する、心穏やかなお殿様です。

この地図は、ボランティアの協力により参考資料として作成したものです。実際には十分に下調べをして登山しましょう。

制作・協力
武田山関連団体連絡会参加団体
武田山の情報は http://gsho.jp/takechama/
又は たけちゃまの情報コーナー　検索

参考文献／広島市の文化財、ひろしまの歴史の散歩路、祇園町誌、わがまち祇園　ほか

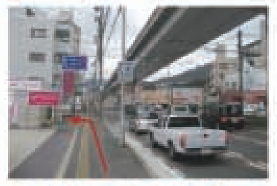
発行　**広島市安佐南区役所市民部 地域起こし推進課**
〒731－0193　広島市安佐南区古市一丁目33番14号
TEL:082-831-4926　FAX:082-877-2299
Eメール am-chiiki@city.hiroshima.lg.jp

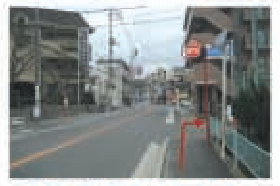
平成26年（2014年）3月

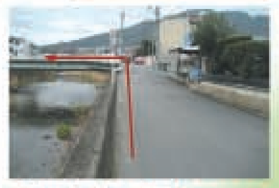
登山口までの案内

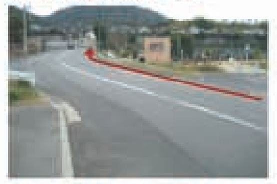
武田山山頂へは、いくつかのルートがあります。
最寄りの交通機関から、武田山登山口へのルートを紹介します。
また、史跡をたどりながら至る祇園・山本ルートは、裏面で詳しく紹介しています。

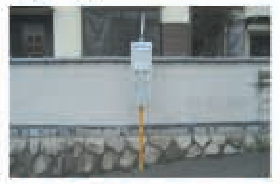
上安ルート　アストラムライン上安駅から　所要時間 約35分

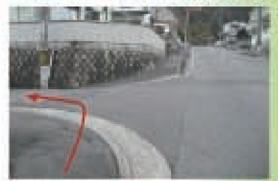

①動物園入口交差点を左折、安川通りへ。

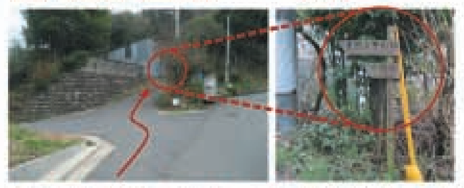

②安小学校を過ぎ右折。安川へ。


③銀山橋を渡り東亜ハイツ入口からバス通りを上る。


④山陽自動車道を渡る手前が相田第七公園。

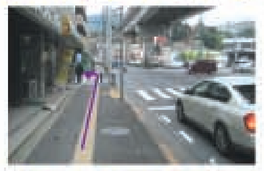

⑤東亜ハイツ上バス停が目印。

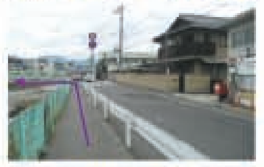

⑥バス停の手前の相田7丁目57番を左折。

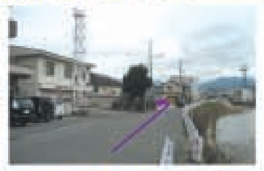

⑦突きあたりに水越峠への登山道があり、武田山登山口の案内標識があります。

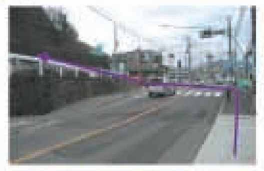
光賢寺跡
初代銀山城主武田信宗の菩提所であったと言われています。

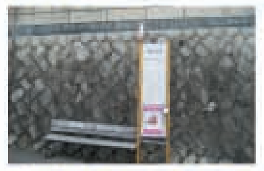
安東ルート　アストラムライン安東駅から　所要時間 約40分

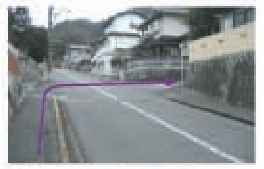

①安東駅（西）交差点を左折、南へ。

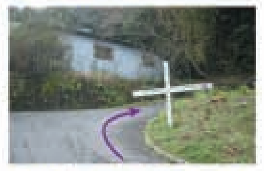

②安川沿いに出て右折。安川橋歩道橋を渡り

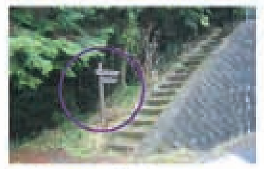

③消防団上安車庫で左折、安川通りへ。


④相田2丁目交差点を渡り、武田山団地へ。

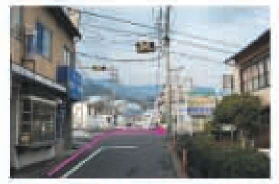

⑤バス通りを上る。武田山団地バス停が目印。

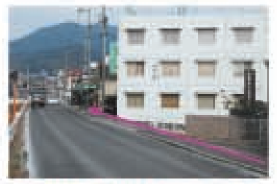

⑥バス停手前の相田3丁目59番を右折

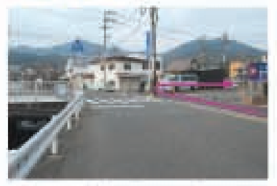

⑦広島県史跡銀山城址登山道の標識を目印に上り

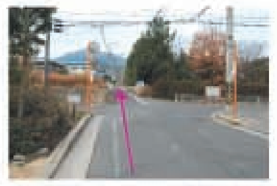

⑧武田山墓苑入口に登山口の標識があります。

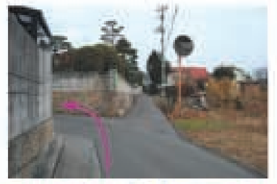
安芸長東ルート　JR安芸長東駅から　所要時間 約50分

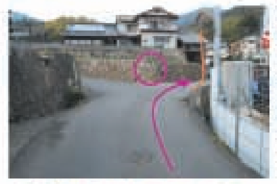

①大師橋を右折、川沿いの道を北上。

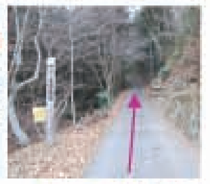

②祇園西公民館を過ぎ、


③川手橋手前の銀行の前を右折。

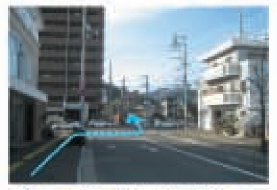

④細い道を上り、立専寺へ。

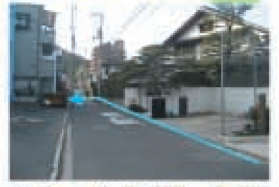

⑤立専寺を過ぎ、カーブミラーを左折。

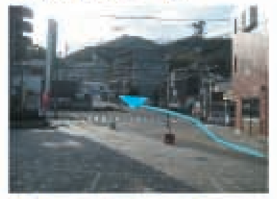

⑥小さな目印にしたがって、道なりに上って行きます。

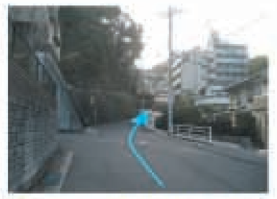

⑦鹿ヶ谷自然道へ入ります。

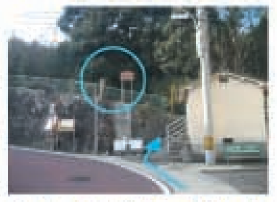
大町ルート　JR大町駅から　所要時間 約10分

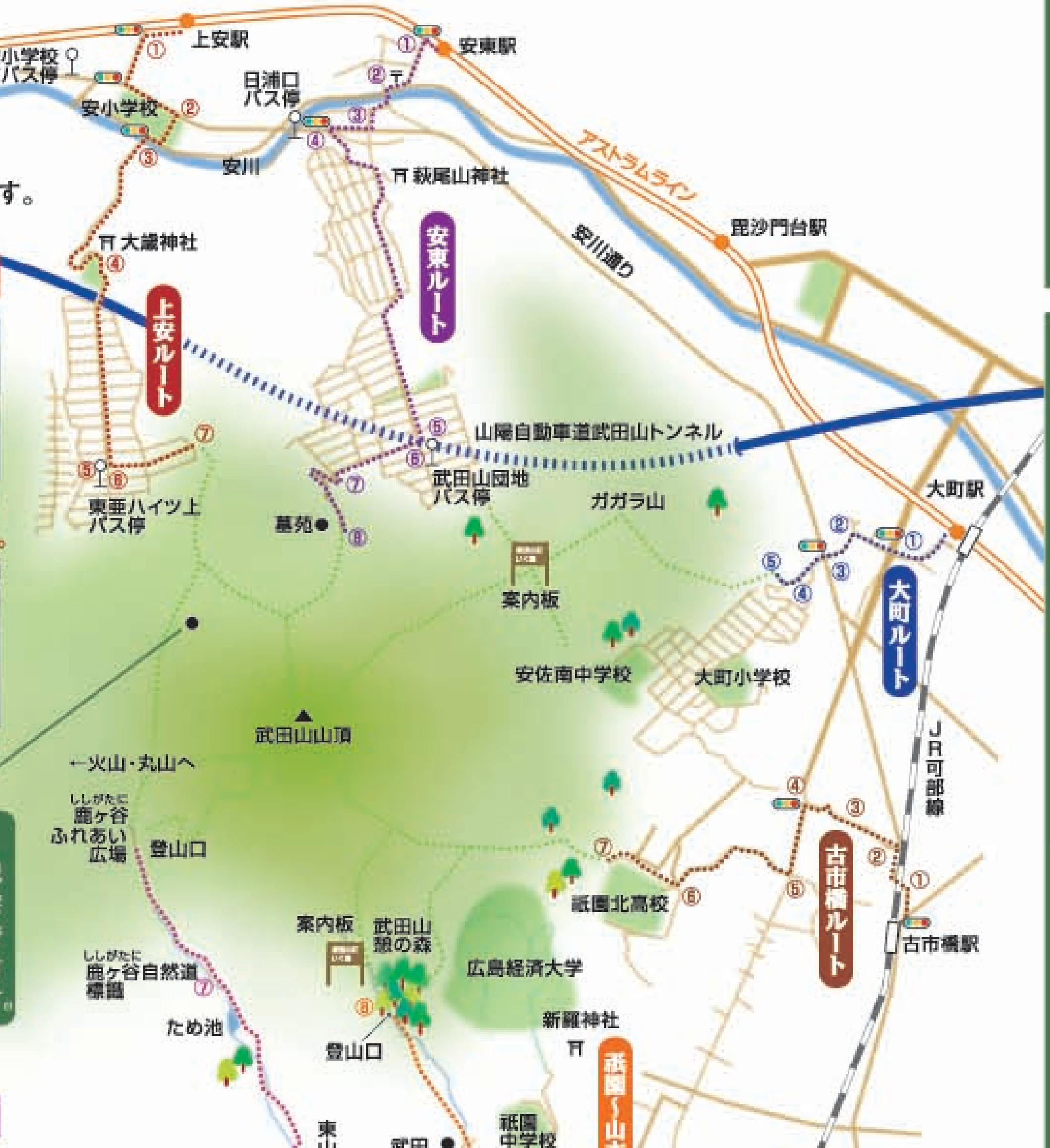

①大町駅前道路を進み、大町バスターミナル（西）交差点を北西へ。


②公園を過ぎたところのカーブミラーを左折。

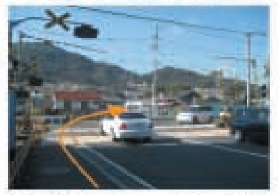

③細い道を抜けると、左にJA大須支店があり、大町小学校入口（北）交差点を渡ります。

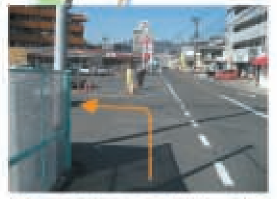

④大町団地入口を上り、突き当たりを右折。

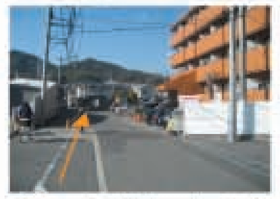

⑤山手に登山口案内板があります。

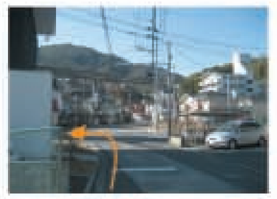

上安駅
安小学校前バス停
安小学校
日浦口バス停
安東駅
安川
萩尾山神社
アストラムライン
毘沙門台駅
安川通り
大歳神社
上安ルート
安東ルート
山陽自動車道武田山トンネル
東亜ハイツ上バス停
武田山団地バス停
墓苑
ガガラ山
案内板
大町駅
大町ルート
安佐南中学校
大町小学校
武田山山頂
←火山・丸山へ
鹿ヶ谷（ししがたに）ふれあい広場
登山口
JR可部線
古市橋ルート
祇園北高校
古市橋駅
武田山憩の森
広島経済大学
鹿ヶ谷（ししがたに）自然道標識
ため池
新羅神社
祇園～山本ルート
東山本川
武田一族の墓
祇園中学校
歓喜寺・大年神社
標識
祇園小学校
モデルルートとして裏面で詳しく紹介
立専寺
山本小学校
下祇園駅
山本川
安芸長東ルート
安芸長東駅

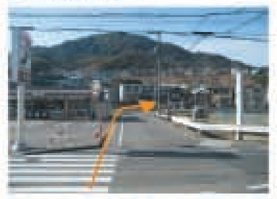
古市橋ルート　JR古市橋駅から　所要時間 約20分

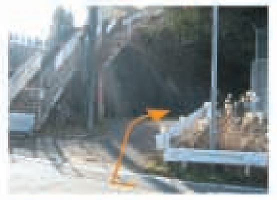

①県道を北へ、JR踏切を渡ります。

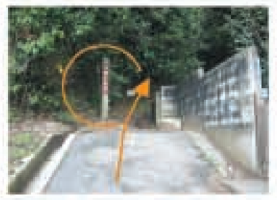

②コンビニの手前を左折。


③ホームセンターとコンビニの間を西へ。


④大町東1丁目交差点を左折、長束八木線を南へ。


⑤コンビニを目印に右折して、西へ。

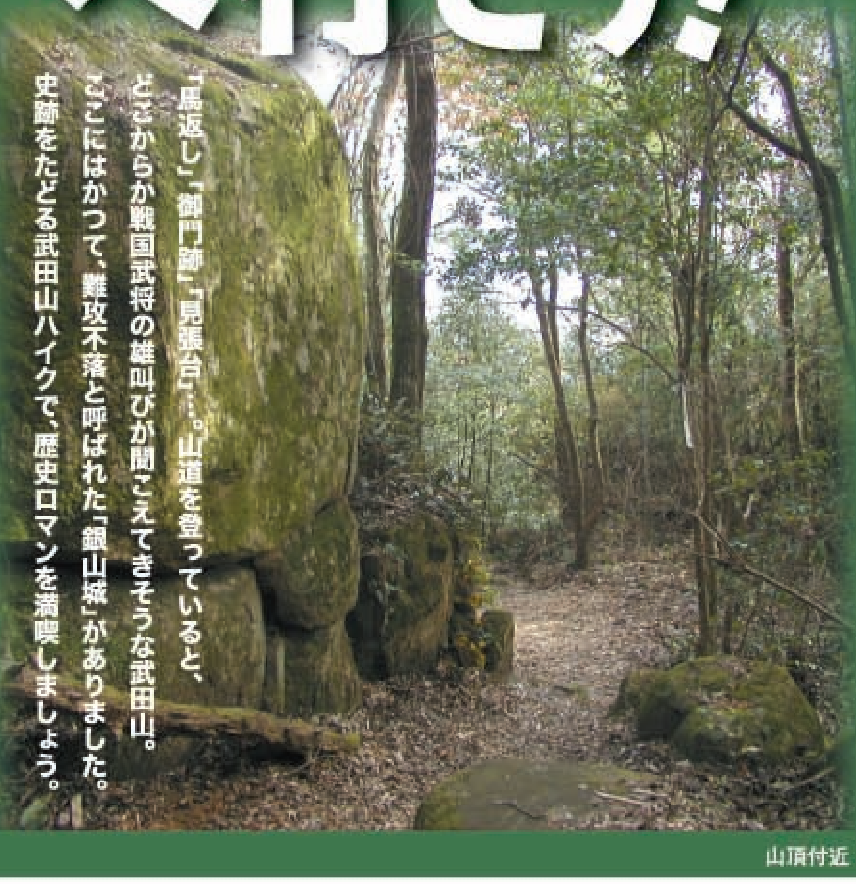

⑥祇園北高校の横から登山口へ。


⑦武田山祇園北高登山口。

地域の歴史、再発見

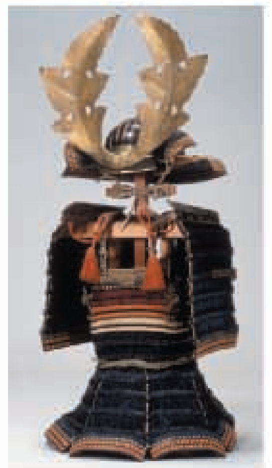
武田山へ行こう！

Takedayama


「馬返し」「御門跡」「見張台」…。山道を登っていると、どこからか戦国武将の雄叫びが聞こえてきそうな武田山。
ここにはかつて、難攻不落と呼ばれた「銀山城」がありました。
史跡をたどる武田山ハイクで、歴史ロマンを満喫しましょう。

山頂付近

武田山の概要


色々威腹巻鎧（いろいろおどしはらまきよろい）
国重要文化財　昭和40年（1965年）5月指定［呉武田学園蔵］
室町中期の作で、武田元綱が使っていたと伝えられる腹巻鎧です。

安芸国の守護（しゅご）であった武田氏の本拠銀山（かなやま）（金山）城（じょう）の築かれていた山を、武田氏にちなんで武田山と言います。この武田山とその周辺は、戦国期に毛利氏が広島に本拠を移してそこに城下町を築くまで、中世を通じて安芸国の政治や経済の中心地として繁栄しました。

城跡など昔をしのぶ史跡が、今も数多く点在している武田山は、郷土の歴史を感じながら、家族連れでも楽しめる比較的登りやすい山です。標高410.5メートルの山頂からは、ふもとに広がる祇園の町、ゆったりと南流する太田川、高層ビルが林立する市街地を一望できます。さらに向こうには、絵のような島々が浮かび、光輝く瀬戸内海の絶景が続きます。

現在、銀山城が築かれた一帯（海抜250m以上）は県史跡の指定を受けています。安芸国内の中世山城としては、郡山城（安芸高田市）と並ぶ最大級のものと言えます。

山頂より広島湾を望む